

平成 22 年度

当初予算資料

市長公室

平成22年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成22年度	平成21年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額①		12,077,019	11,744,847	332,172	2.8
特 別 会 計 ②		3,428,142	3,481,803	△ 53,661	△ 1.5
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,713,839	2,756,427	△ 42,588	△ 1.5
	老人保健事業	1,526	4,026	△ 2,500	△ 62.1
	後期高齢者医療事業	494,906	505,782	△ 10,876	△ 2.2
	青年の家事業	9,490	7,483	2,007	26.8
	市有林整備事業	30,628	32,843	△ 2,215	△ 6.7
	紀和診療所事業	106,768	93,709	13,059	13.9
	紀和地区水道事業	70,985	81,533	△ 10,548	△ 12.9
	水道事業会計③		565,298	656,578	△ 91,280
合計(①+②+③)		16,070,459	15,883,228	187,231	1.2

一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

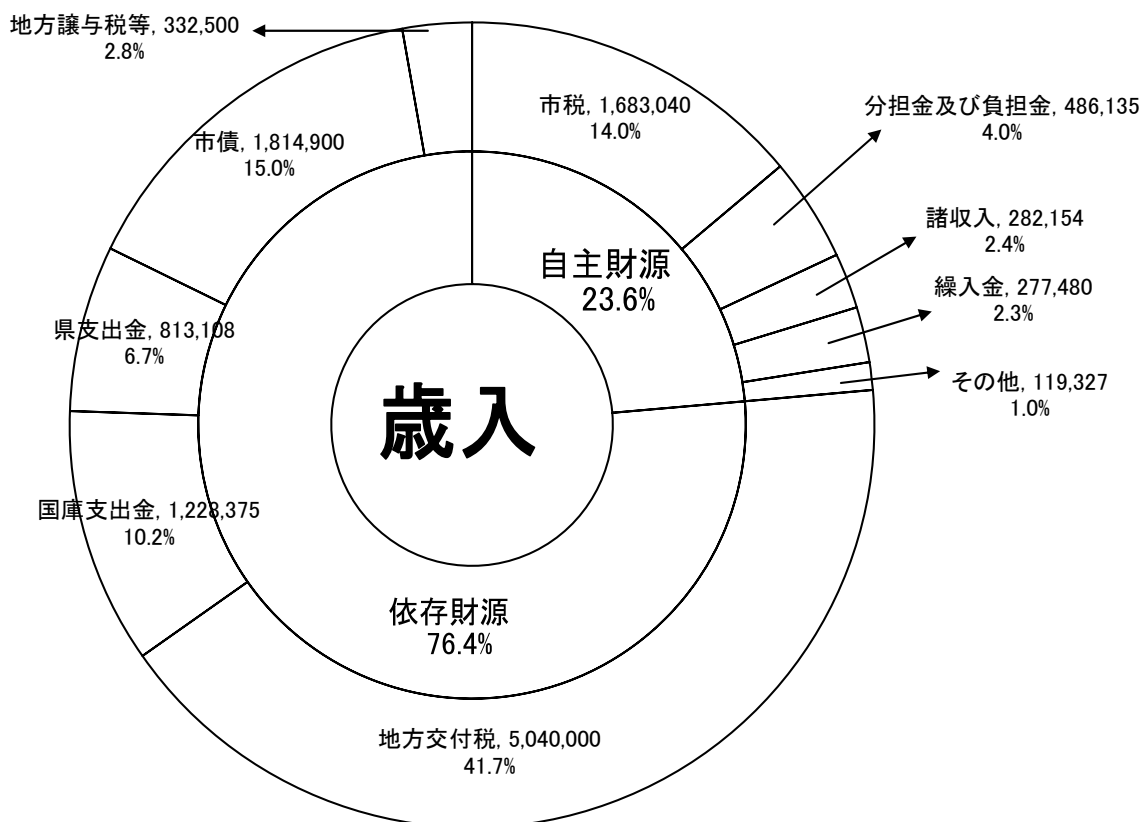
区 分	2 2 年度当初 A	2 1 年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A / B		
1 義務的経費	5,692,519	5,474,306	218,213	4.0	47.1	
内 訳	人件費	2,913,951	2,941,152	△ 27,201	△ 0.9	24.1
	扶助費	1,293,018	1,055,658	237,360	22.5	10.7
	公債費	1,485,550	1,477,496	8,054	0.5	12.3
2 普通建設事業費	2,608,487	2,608,996	△ 509	△ 0.0	21.6	
内 訳	補助事業	1,424,153	1,063,138	361,015	34.0	11.8
	単独事業	1,184,334	1,545,858	△ 361,524	△ 23.4	9.8
3 災害復旧費	16,100	20,960	△ 4,860	△ 23.2	0.1	
4 その他経費	3,759,913	3,640,585	119,328	3.3	31.2	
合 計	12,077,019	11,744,847	332,172	2.8	100.0	

一般会計歳入予算の状況

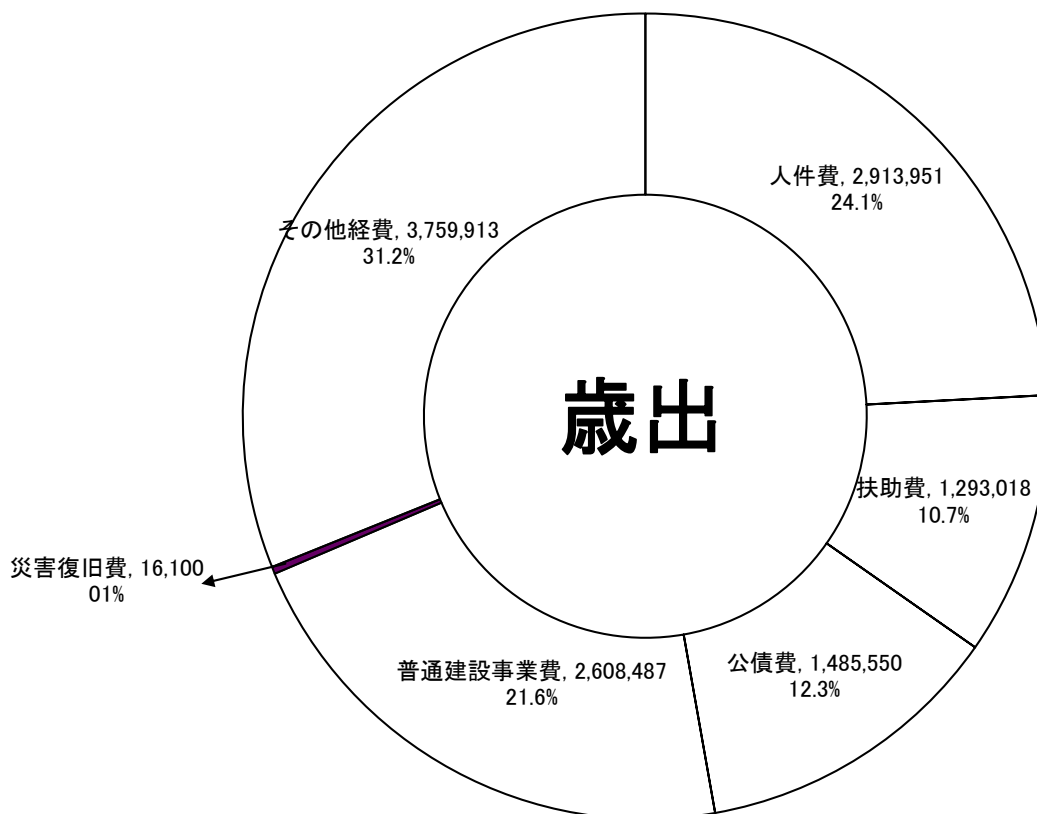
(単位：千円、%)

区 分	2 2 年度当初 A	2 1 年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A/B	
市税	1,683,040	1,654,318	28,722	1.7	14.0
地方譲与税等	332,500	362,500	△ 30,000	△ 8.3	2.8
地方交付税	5,040,000	4,830,000	210,000	4.3	41.7
分担金及び負担金	486,135	489,754	△ 3,619	△ 0.7	4.0
使用料及び手数料	88,364	85,323	3,041	3.6	0.7
国庫支出金	1,228,375	972,151	256,224	26.4	10.2
県支出金	813,108	1,023,434	△ 210,326	△ 20.6	6.7
財産収入	21,862	35,588	△ 13,726	△ 38.6	0.2
寄附金	4,101	5,046	△ 945	△ 18.7	0.0
繰入金	277,480	482,784	△ 205,304	△ 42.5	2.3
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	282,154	307,549	△ 25,395	△ 8.3	2.4
市債	1,814,900	1,491,400	323,500	21.7	15.0
合 計	12,077,019	11,744,847	332,172	2.8	100.0

一般会計歳入予算総額 12,077,019千円



一般会計歳出予算総額 12,077,019千円



平成22年度当初予算(一般会計)について

～正念場へさらに加速！～ 5年連続の超大型積極予算

1. 予算の概要

平成22年度の当初予算は、中長期的に

- (1) 整備が進む高速道路完成までが、市の活力再生の“正念場”、“最後のチャンス”であり、産業振興による雇用の場の創出のため、株式会社熊野市役所の考え方によって、全力を挙げて取り組まなければならないこと
- (2) 「超・超高齢社会」となり、一人暮らしの高齢者の方々を始め市民の皆さんの暮らしの安心確保と健康づくり、大切な子どもたちのための子育て支援・少子化対策がより大きな課題となっていること

などを踏まえ、諸課題に的確に対処していくため、対前年度比2.8%増、総額120億7,701万9千円の予算編成をしております。

また、平成22年度実施予定の事業に国の第2次補正予算による100%の交付金を充当し、平成21年度への前倒しを行う事業を含めた13か月予算では、対前年度比4.4%増、122億6,156万円となっています。いずれにしても市の人口規模からみて、非常に積極的で超大型の、本市として過去最大の予算編成にしております。

(1)5年連続の超大型積極予算

平成22年度当初予算は、今まで以上に厳しい「地域経済」と高齢化率が36%となり超が2つ重なる「超・超高齢社会」への対応が重要となります。

働く場の創出を最重要テーマに位置づけての産業の振興、福祉・健康づくりの推進による「活力」づくりと超超高齢社会での暮らしや生活の「安心」の確保、教育・文化・スポーツの振興、生活環境の整備などの施策を前例にとらわれず、創意工夫を凝らして力強く前進させ、活力があり安心して暮らせる熊野市の実現を図ると同時に、長期的な視点で第1次熊野市総合計画の将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活力と潤いのあるまち・熊野」の実現を目指します。

産業振興と福祉においては、行政の役割が大きくならざるを得ない面があり、効率化に配慮しつつ必要な施策を積極的に打ち出していく必要があります。

特に高速道路が平成25年度に熊野市まで開通予定となっており、今後4年間で市の発展の最後のチャンスであり、正念場であることから、市内で最も大きな組織である市役所自らもリスクを取り、大胆に収益事業にも取り組み、いわば「株式会社熊野市役所」として、産業振興、雇用の拡大をしっかりと図っていきます。

事務事業の検討にあたっては、もたらす効果が具体的にどういうものかを明確に認識し、総合計画の理念や計画に沿ったものであるかを考慮する必要があります。また、人件費、維持管理費等見えにくい費用まで含めた総コストを十分に検討し、効率性、効果を明らかにすべきと考えます。

いずれにしても職員一人ひとりが将来を見据え、財政状況が厳しさを増していくことを忘れることなく、常に経営感覚を意識しながら、創意工夫と努力をかさね、英知を結集し、平成21年度に引き続き積極的な予算編成(120億7,701万9千円、対前年度比2.8%増、13か月予算では122億6,156万円、対前年度比4.4%増)を行っています。同程度の人口規模の市と比較しても、2～3割増となる超大型の予算です。(参考:全国の人口2万人～2万3千人規模の5市の平成21年度当初予算額の平均は約84億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成22年度の主な事業

①産業の振興「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

特産品づくりでは、ふるさと公社の事業拡大を図る「ふるさと特産物加工所建設事業」、マダイに代わる新たな養殖魚を研究する「新規養殖魚調査研究事業」、「新姫」の苗木増産、商品開発を行う「(新姫)特産品化開発事業」などを実施します。**集客・交流**では、花の窟周辺に資料館、特産品加工所、レストラン等の施設を整備する「花の窟周辺整備事業」、ホテル瀬流荘・湯ノ口温泉を利用者にとって魅力あるものとし集客増加を図るための「瀬流荘・湯ノ口温泉魅力アップ集客推進事業」、徐福伝説を活用してさらなる集客を図る「徐福活用検討事業」、スポーツによる集客をさらに拡大するため「全日本小学生男子ソフトボール大会開催事業」、「日本男子ソフトボール東日本リーグ開催事業」、「ドリーム・ベースボール開催事業」などを新たに実施します。**水産業**では遊木町地先にイセエビ礁の造成を行う「つきいそ造成事業」、磯崎町地先に人工藻場礁の造成を行う「藻場造成事業」を新たに実施します。**豊かな森づくり**では、間伐等の森林整備の加速化を推進する「林内路網整備事業」、原木市場の作業の高能率化を図るための「木材加工流通施設等整備事業」を実施します。

②保健・医療・福祉の充実「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

高齢者安心生活対策では、一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、医療情報や緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備する「一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)」、独居高齢者に地区集会所等に参集してもらい、食事やゲームをして楽しく過ごしてもらおう「高齢者会食モデル事業」、高齢者の世帯等で自宅の修繕が自力でできない際、出張

所職員が修繕・修理を実施する「高齢者安心生活サポート事業」などを実施します。**予防・健診**では、任意予防接種である肺炎球菌ワクチン予防接種に要する費用を補助する「任意予防接種(肺炎球菌ワクチン)補助事業」、高齢者を対象に筋力向上・転倒予防のため水中運動を実施する「水中運動事業」、子宮がん検診、乳がん検診の受診率をアップさせるための「女性特有のがん検診推進事業」を新たに実施します。**少子化・子育て対策**では、中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を支給する「子ども手当支給事業」、男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施する「少子化対策・婚活拡充事業」、市立保育所のサービス向上・効率化を促進するための「公立保育所サービス向上・効率化促進検討委員会設置事業」などを実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

今年度から建物建設に着手する「新鹿小・中学校、保育所改築事業」、**海洋センタープール事業**では、シドニーオリンピック銀メダリストの中村真衣さんを招いて実施する「プールリニューアルオープンセレモニー事業」、「ヨット体験教室開催事業」、「カヌー教室開催事業」、泳げない子どもも参加できる「アクアキッズフェスティバル開催事業」などを実施します。**学校教育**では、児童・生徒の学力向上を図るため、放課後2時間の学習会を実施する「放課後学習プラン事業」、毎週土曜日3時間の学習会を実施する「土曜日学習プラン事業」、夏休みに15日間の学習会を実施する「夏休み学習プラン事業」などを新たに実施します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

地域ぐるみで利用しやすい交通サービスの提供をモデル的に行う「過疎交通対策推進事業」、**防災**では、市内の小学校、保育所、幼稚園に地震のゆれより早く周知が可能となるシステムを構築する「緊急地震速報システム整備事業」、耐震シェルターの設置費用の補助を行う「耐震シェルター設置事業」、**市街地の整備**では、西川町獅子岩線の無電柱化を実施する「電線共同溝整備事業」などを新たに実施します。また、地方バス路線の維持や福祉バスの運行など公共交通機能の確保を図ります。

⑤「まちづくりの進め方」

「地域おこし協力隊」、「集落支援員」を増員配置する「過疎集落維持活性化事業」、30代～40代の若い世代や女性と市幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討する「若者・女性による元気な熊野市懇談会事業」を新たに実施します。また、平成21年度に引き続き、市内17地域のまちづくり協議会に対する補助事業を実施します。

2. 歳出予算の特徴

(1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比2億1,821万3千円、4.0%増の56億9,251万9千円となっており、予算全体の47.1%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の増により職員退職手当が8,500万円の増額となりますが、職員退職者の不補充などによりトータルでは2,720万1千円の減となっています。

扶助費につきましては、中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を支給する子ども手当が新たに増となることなどから、2億3,736万円の増となっています。

公債費につきましては、これまで借入をした市債の通常の償還額は2億4,194万6千円の減となっていますが、平成21年度に引き続き将来の財政健全化のため、2億5千万円の繰上償還を行います。この結果トータルでは805万4千円の増となっています。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、西川町獅子岩線の無電柱化を実施する「電線共同溝整備事業」、継続事業では、紀和町ふるさと公社の事業拡大を図る「ふるさと特産物加工所建設事業」、「新鹿小・中学校、保育所改築事業」、駅前周辺整備に伴う「駅前駐車場整備事業」、グラウンド内の地盤改良などを実施する「山崎運動公園多目的グラウンド改修事業」、小学校で2校、中学校で1校実施する「学校耐震補強事業」などを予算化しています。

トータルでは、対前年度比で大幅な増額となった平成21年度当初予算額とほぼ同額となる26億848万7千円(前年度比50万9千円減、-0.0%)となっています。

(3) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、平成22年度は、参議院議員選挙費、知事選挙費、県議会議員選挙費、市議会議員選挙費を計上したことや、国民健康保険事業への繰出金が増となったことなどから、トータルでは1億1,932万8千円の増となっています。

(4) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP10～P18)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、景気の低迷により市民税が減となりますが、税制改正により市たばこ税の税率が平成22年10月1日からアップすることなどにより、総額で16億8,304万円、対前年度比2,872万2千円、1.7%の増となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては16兆8,935億円、対前年度比1兆733億円、6.8%増となっております。これを踏まえて、市においては、普通交付税については、平成21年度交付額に国の増額率を乗じ予算化しています。また、特別交付税については、平成21年度当初予算額に国の増額率を乗じて予算化しています。

その結果、地方交付税は50億4千万円、対前年度比2億1千万円、4.3%の増となっています。

(3) 市債

市債については、建設事業分では合併特例債を活用することで11億6,990万円、対前年度比1億8,350万円、18.6%の増となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、5億5,000万円、対前年度比1億4,000万円、34.1%の増となり、市債総額では、18億1,490万円、対前年度比3億2,350万円、21.7%の増となっています。

市債の内容は、合併特例債4億5,780万円、過疎債7億8,350万円、その他5億7,360万円となっています。

なお、この結果、平成22年度末の市債残高見込額は126億1,337万5千円となっています。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から1億5,615万8千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成22年度末財政調整基金の残高見込額は23億6,780万9千円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では32億5,659万5千円となっています。

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
① 新規養殖魚調査研究事業	4,452	マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、カワハギを試験的に養殖します。
② 熊野たかな産地強化事業	403	たかな漬けを市の特産品として位置づけ、食品関連事業者との連携を深めるとともに、高設栽培による省力化及び庭先栽培等により生産者の増加及び規模拡大を図ります。
③ 農業公社設立準備事業	284	耕作放棄地の利活用及び若者やUJターン者の就農促進対策等のために平成23年度に設立する予定の熊野市農業公社(仮称)について、各種準備及び検討を行います。
④ 野菜・ハーブ等新規特産農作物検討事業	448	「新姫」や「熊野地鶏」に続く農畜産物の特産品化を目指し、関係機関と意見交換を行いながらトマトやハーブを始めとした新たな農作物の生産振興について検討を行います。
⑤ 特産品化調査研究事業	778	地域資源を活用した特産品(チーズ等)の企画・製造・販売に係るノウハウを調査研究するため、先進的な取り組みを行っている講師を招き、新たな特産品づくりを学びます。
集客・交流		
⑥ 花の窟周辺整備事業	14,843	花の窟周辺に資料館、特産品加工所、レストラン等の施設を整備し、魅力ある観光地とします。平成22年度は基本・実施設計を行います。
⑦ 徐福活用検討事業	1,187	日本のみならず東アジア3国の交流と集客を図るため、徐福伝説を活用して研究部会を立ち上げ、活用方法の検討を行います。
⑧ 丸山千枚田景観整備事業	442	東屋周辺の耕作放棄地にスイレンを植栽しベンチを設置することで癒しの空間を創出します。
⑨ 瀧流荘・湯ノ口温泉魅力アップ 集客推進事業	219	瀧流荘や湯ノ口温泉、トロッコ電車等を利用者にとって魅力的なものにし、集客増加が図れるようなサービスや事業実用化への試行を実施します。また、旧鉱山坑道の有効活用による新たな事業創出についても検討を行います。
⑩ くまのまごころおもてなし向上事業	294	来訪者にまた熊野に訪れたいと思っていただくため、講師の指導のもと観光関連業者と「くまのらしいおもてなしは何か」を検討し、「くまのおもてなし憲章」を策定します。
⑪ 全日本小学生男子ソフトボール 大会開催事業	2,144	全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全日本小学生男子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。
⑫ 日本男子ソフトボール東日本 リーグ開催事業	1,046	日本男子ソフトボール東日本リーグ第2節を開催するための経費に対し補助を行います。
⑬ 日本スポーツマスターズ開催事業	1,000	市の物産等をPRし、情報発信を積極的に行うため、日本スポーツマスターズ2010三重大会ソフトボール競技開催時の各種物産の紹介・販売・おもてなし等の経費に対し補助を行います。
⑭ 熊野囲碁大会開催事業	300	県内外から囲碁愛好家を集め、市内で2日間にわたり囲碁大会を開催します。
⑮ 財団法人組織改編事業	29	事務事業の合理化、さらなる産業の振興、雇用の創出を図るため、(財)ふるさと公社及び(財)観光開発公社を統合し、新たな組織形態への再編を行います。

事業名	事業費	事業内容
⑯ くまの地域資源魅力向上検討事業	301	榎ヶ崎、海水浴場、徐福、丸山千枚田といった十分に活用されていない市内の地域資源の魅力を高め、集客に結びつけるため、各地域資源ごとに魅力向上計画を策定します。
水産業		
⑰ つきいそ造成事業	8,010	イセエビの漁獲量を増やすため、遊木町地先にイセエビ礁の造成を行います。
⑱ 藻場造成事業	4,810	アワビやサザエなどの餌場の保護のため、磯崎町地先に人工藻場礁の造成を行います。
⑲ 環境生態系保全活動支援事業	750	藻場や磯場の生態環境保全のため、藻場保全など地域組織が実施する活動について支援を行います。
商業		
⑳ 商店街景観整備事業	819	松原商店街の景観を整備するため、看板改修費用の3分の2を助成します。
㉑ タウンマップ製作事業	100	観光客等の商店街の利用促進を図るため、商店連合会が作成するタウンマップの製作費の2分の1を助成します。
獣害対策		
㉒ 獣肉有効利活用検討事業	250	捕獲した猪・鹿の有効活用を図ることを目指し、獣肉の市場調査と処理施設建設に係る先進地視察を行います。
農村環境の整備		
㉓ 県営中山間地域総合整備事業(北部地区)	11,375	中山間地域の農村農業の活性化を図るため、平成22年度～平成27年度に五郷町、飛鳥町の水路等を整備します。
豊かな森づくり		
㉔ 林内路網整備事業	30,000	作業等の路網整備を行うことで、地域材利用促進を図るとともに、間伐等の森林整備の加速化を推進します。
㉕ 森林整備地域活動支援交付金事業(拡充事業)	34,930	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施策が実施されるよう、その森林施策の実施に不可欠な森林の現況調査、実施区域の明確化、実施区域へのアクセス道の整備等に対し支援を行います。
㉖ 木材加工流通施設等整備事業	7,500	原木市場の効率性向上のため、機械導入に対し補助を行います。
㉗ 林業機械化促進事業	2,250	紀南森林組合の林業の効率化を図るため、林業機械導入に対し補助を行います。
小計 27事業	128,964	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者安心生活対策		
① 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)	483	一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。
② 高齢者会食モデル事業	275	独居高齢者に地区集会所に来ていただき、食事や健康相談、ゲームをするなどして楽しく過ごしてもらい、安否確認、孤独感の軽減、閉じこもり防止を図ります。

事業名	事業費	事業内容
③ 高齢者安心生活サポート事業	160	高齢者をケガなどの危険から回避させるため、高齢者の世帯等で自宅の修繕が自力でできない際、出張所職員が可能な範囲で修繕・修理を実施するための工具を整備します。
予防・健診		
④ 任意予防接種(肺炎球菌ワクチン)補助事業	1,920	高齢者の肺炎で最も頻度が高いとされている肺炎球菌による肺炎の発症及び重症化、死亡を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を補助します。
⑤ 水中運動事業	268	要介護状態への予防を目的として、65歳以上の高齢者を対象とした筋力向上・転倒予防のための水中運動をB&G海洋センタープールで実施します。
⑥ 転倒・寝たきり予防プログラム指導者養成研修会事業	51	B&G財団の協力により、講師を招いて高齢者のための健康づくりプログラムの策定に向けた職員研修会を開催します。
⑦ 女性特有のがん検診推進事業	1,392	子宮がん検診、乳がん検診の対象者に検診手帳、クーポン券とともに受診案内を送付し、6ヶ月間の有効期限内に受診した者に対し、検診費用の全額を補助します。
少子化・子育て対策		
⑧ 子ども手当給付事業	287,240	中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を支給します。
⑨ 少子化対策・婚活拡充事業	266	男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施します。
⑩ 金山保育所設備整備事業	4,000	金山保育所改築に伴い、必要な保育設備を整備し、保育環境の向上を図ります。
⑪ 公立保育所サービス向上・効率化促進検討委員会設置事業	150	市立保育所のサービス向上・効率化を促進するため検討委員会を立ち上げ具体的な議論を行います。
⑫ 放課後児童クラブ移転事業	556	現在、母子生活支援施設で実施している学童クラブを井戸幼稚園に移転し、より健全な運営を実施します。
小計 12事業	296,761	
3 教育・文化の振興		
海洋センタープール事業		
① プールリニューアルオープンセレモニー事業	528	シドニーオリンピック銀メダリスト中村真衣さんによる水泳講習会などを開催し、リニューアルしたプール施設をより多くの方々にPRし利用促進を図ります。
② ヨット体験教室開催事業	151	小学4、5、6年生を対象にヨット体験教室を開催します。
③ カヌー教室開催事業	19	小学4、5、6年生を対象にカヌー教室を開催します。
④ アクアキッズフェスティバル開催事業	112	泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。
学校教育		
⑤ 放課後学習プラン事業	910	市内小中学校5校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

事業名	事業費	事業内容
⑥ 土曜日学習プラン事業	792	市内小中学校5校を対象に、毎週土曜日3時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。
⑦ 夏休み学習プラン事業	270	市内小中学校5校を対象に、夏休みに15日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。
文化芸術		
⑧ 熊野市民会館ホール椅子改修事業	96,700	市民会館ホールの客席椅子を改修し、市民会館のイメージアップや利便性の向上を図り、文化事業の推進を図ります。
生涯スポーツ		
⑨ ドリーム・ベースボール開催事業	1,340	青少年の健全育成と地元指導者・競技者の更なる技術向上のため、プロ野球名球会及びOBクラブによる指導者クリニック、少年少女ふれあい野球教室、講演会、ドリームゲームを開催します。
⑩ コーディネーション運動による児童体力向上事業	608	保育士を中心にコーディネーション運動の講習を受け、保育所児童の体力・運動能力の向上を図ります。
小計 10事業	101,430	
4 生活環境の整備		
交通体系の整備		
① 過疎交通対策推進事業	2,156	過疎地域における交通施策を推進するため、過疎地有償運送を実施する団体に対して支援を行います。
防災		
② 緊急地震速報システム整備事業	5,112	市内の小中学校、保育所、幼稚園に、ゆれが到着する前に緊急地震速報が放送されるシステムを構築し、子ども達の避難の時間、安心確保を図ります。
③ 耐震シェルター設置事業	2,500	住宅の倒壊から居住者の生命の安全を守るため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で、耐震診断の結果による評点が0.7未満とされた住宅に居住している65歳以上の高齢者のみの世帯等に耐震シェルター設置費用の補助を行います。
④ 豪雨対策事業	181	大雨、洪水時の災害に備えて、要望のある自主防災会に対し、土のうを無償配付し、住民が緊急時に対応できるようにします。
市街地の整備		
⑤ 電線共同溝整備事業	20,010	都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。平成22年度は、予備設計、詳細設計を実施します。
道路		
⑥ 橋梁長寿命化事業	8,000	橋梁の老朽化に対応するため、市内78箇所の市道の橋長15m以上の橋梁の点検を実施します。
⑦ 市営住宅解体事業	6,800	県道七色峡線の拡幅促進のため、宇井団地の一部について解体を実施します。
住宅・住環境		
⑧ 市営住宅耐震診断事業	3,824	建物の延命化を図るため、松原団地、第1所山団地の耐震診断を実施します。
環境保全		

事業名	事業費	事業内容
⑨ 全市民によるごみ拾い運動事業	147	6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。
廃棄物処理		
⑩ 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業	9,000	耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターを建設するために必要な計画等の策定業務を実施します。
小計 10事業	57,730	
5 まちづくりの進め方		
① 過疎集落維持活性化事業	24,249	「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を増員配置し、集落機能の強化を図ります。
② 若者・女性による元気な熊野市懇談会事業	740	30代～40代の若い世代や女性と市役所幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討します。
③ 田舎暮らし体験事業	240	移住希望者の定住促進を図るため、市が空家を借り受け、移住希望者に短期間(1ヶ月程度)の田舎暮らしを体験してもらいます。
④ 出張所自治会活動支援事業	144	西山・育生地区の自治会活動の応援要請に対応するため備品等を整備し、地域の環境美化と活力の維持を図ります。
⑤ 神上生活改善センター改修事業	5,500	神上生活改善センターの改修事業を実施します。
⑥ 遊木漁民センター改修事業	2,550	遊木漁民センターの改修に対し、補助を行います。
⑦ 野口多目的集会所駐車場整備事業	544	野口多目的集会所の駐車場の舗装を実施します。
⑧ 佐渡多目的集会所改修事業	410	佐渡多目的集会所の改修事業を実施します。
小計 6事業	34,377	
総計 65事業	619,262	

増額した継続事業

事業費の()は平成21年度当初予算額

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
① ふるさと特産物加工所建設事業	533,338 (29,098)	紀和町ふるさと公社が製造加工している味噌、梅干、たかな漬けに加え、新たに高麗雉、熊野地鶏の食鳥・食肉処理や、新姫の搾汁や粉末加工などを行う特産物加工所と保管庫を新たに建設します。
② ふるさと公社事業	56,527 (43,279)	貴重な文化資源である丸山千枚田を保全し、オーナー制度を運営することで観光や文化資源としての活用・農耕文化の継承・都市住民との交流や市の特産品として農産物の生産・加工・販売を行い地元への経済効果・雇用の確保・シルバー人材の活用といった多岐にわたる成果を得るため、「丸山千枚田オーナー制度運営事業」・「農産物(特産品)育成開発事業」・「地域環境整備事業」・「公益法人事業」を行います。「地鶏生産事業」については、6,000羽から10,000羽に大幅な事業の拡大を行います。
③ 「新姫」特産品化推進事業	15,445 (5,745)	「新姫」を特産品として振興していく上で必要な苗木増産、遊休農地等を活用した栽培を進めると同時に商品化に向けての検討を行います。近年、香酸かんきつが注目されており、さまざまな関連商品が市場流通する中で、差別化を図るための商品開発を行います。
④ 熊野地鶏振興事業	1,068 (858)	「熊野地鶏」を市の新たな特産品としてブランド化を図り、市内外でPR活動を実施し、販売先の確保を進めます。
集客・交流		
⑤ 音楽合宿誘致事業	1,770 (905)	平成23年3月に三重大学管弦楽部の5泊6日の合宿を誘致します。また、新たに2校の音楽合宿を誘致します。
⑥ 還暦野球熊野大会開催事業	600 (500)	山崎運動公園くまのスタジアム等で、16チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。平成22年度は新たに古希の部4チームを加えます。
⑦ スポーツフェスティバル開催事業	10,050 (9,500)	各種スポーツ大会を開催するとともに、柔道フェスティバルについては事業費を増額し、さらなる内容の充実を図ります。
⑧ 熊野古道積極活用推進事業(くまの魅力再発見事業)	1,501 (1,261)	熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、「めざせ！写真甲子園熊野古道写真教室」事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成を行います。
農業		
⑨ 新規就農者自立支援事業	1,800 (1,440)	UIJターン等新規就農に向けた研修を実施する農家に、研修生への日当の一部を補助します。6ヶ月の研修終了後、研修者に対し18ヶ月間、月額8万円を10万円に引き上げ自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。
⑩ 農作物「熊野ブランド」確立実践事業	491 (363)	有機野菜の栽培を定着化させ、地元の農作物を「熊野ブランド」として銘打てるようにするため、栽培方法を確立させ、市内の農家に普及させていきます。

事業名	事業費	事業内容
⑪ 耕作放棄地再生利用事業	259 (60)	耕作放棄地解消を目的として、市の支援後も継続的に取り組めるような作物を地域とともに研究し実証していきます。
農村環境の整備		
⑫ 県営中山間地域総合整備事業	16,250 (11,375)	中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。
獣害対策		
⑬ 有害鳥獣駆除事業	6,645 (5,485)	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を引き続き実施します。
⑭ 農林産物獣害対策事業	3,403 (3,061)	農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。
林業		
⑮ 森林病虫害防除事業	3,193 (947)	花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。
⑯ 森林環境創造事業	46,014 (33,085)	環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。
⑰ 林内作業道開設事業	2,280 (1,860)	森林組合が開設する作業道について、測量支援を行います。
⑱ 林道開設事業	157,780 (121,059)	林道高代山線開設事業、他5路線の改良事業及び波田須町、紀和町丸山地区に防火水槽を設置します。
水産業		
⑲ 漁業担い手対策事業	1,680 (1,080)	漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。
商工業		
⑳ 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業	2,520 (1,800)	木本町、井戸町、有馬町の商店街における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。
㉑ 記念通り商店街活性化事業	2,416 (2,143)	住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。
㉒ 産学官共同研究事業	895 (670)	市内事業者等の関係者、近大高専をはじめとする研究機関の有識者、行政機関職員が、地域資源を活用して市内産業の振興を図るため、共同して研究を行います。
小計 22事業	865,925 (275,574)	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者安心生活対策		
① 介護予防ケアマネジメント事業	36,336 (33,493)	介護予防事業、新予防給付の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

事業名	事業費	事業内容
② 高齢者生活機能チェック事業	10,128 (8,881)	全国統一の問診表により、特定高齢者(介護予防事業への参加が望ましいとされる者)の候補者をスクリーニングし、介護予防事業へとつなげていきます。
③ 若返りクラブ事業	2,880 (2,520)	高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。
少子化・子育て対策		
④ 放課後児童対策事業	7,898 (7,204)	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。
⑤ 母子家庭高等技能訓練促進事業	1,742 (1,286)	母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。
⑥ チャイルドシート購入費補助事業	450 (380)	6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。
社会保障等		
⑦ 心身障がい者医療費助成充実事業	1,099 (1,045)	療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乘せして、B中度所持者の療養費を助成します。
小計 7事業	60,533 (54,809)	
3 教育・文化の振興		
① 新鹿小・中学校、保育所改築事業	217,158 (14,110)	小中保育所併設校舎、屋内運動場の改築事業を22年度から3ヵ年で実施します。
② 図書館図書購入事業	40,000 (10,000)	図書館図書を大幅に増額し購入します。
③ 臨時介助員配置事業	27,534 (24,084)	知的、身体的障がいのある児童生徒に介助員を配置します。
④ 臨時特別支援教育支援員配置事業	4,785 (1,531)	特別支援教育が必要な学校に支援員を配置します。
⑤ 奨学金貸付事業	6,000 (3,600)	大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後毎月2万円の償還を受けます。
⑥ 小学校耐震補強事業	104,582 (5,471)	神上小学校屋内運動場の実施設計及び木本・有馬小学校屋内運動場の耐震補強事業を実施します。
⑦ 近大高専奨学金貸付事業	4,485 (4,233)	近大高専に入学し、勉学に熱意のある者で、経済的理由により就学困難な者に対し、三重県立学校との入学金、学費等の差額を3年生まで貸与します。
小計 7事業	404,543 (63,029)	

事業名	事業費	事業内容
4 生活環境の整備		
防災		
① 災害救護所整備事業	1,063 (871)	大規模災害時、地元医師会を中心とした救護所の設置のため、避難用大型テント、簡易トイレなどを整備します。
② 木造住宅耐震補強補助事業	10,800 (7,825)	地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。
③ 急傾斜地崩壊対策事業	6,600 (4,500)	木本町新出町地区外2地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。
消防		
④ 消火栓ボックス整備事業	857 (650)	紀和町内に設置している消火栓ボックスのうち、状態が悪く使用不能なホース、管鎗を更新します。
廃棄物処理		
⑤ 不法投棄防止対策事業	1,000 (419)	不法投棄パトロールの実施、監視員制度、啓発看板の設置等を行い、不法投棄のないきれいなまちづくりを目指します。
花のまちづくり		
⑥ 花いっぱい運動事業	1,754 (1,669)	育苗施設を活用した花づくり、オープンガーデン熊野の開催などを実施します。平成22年度は新たにハーブ栽培を実施します。
道路		
⑦ 道路維持事業	60,000 (50,000)	市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。
⑧ 国道309号、311号道路改良事業	4,000 (2,500)	飛鳥町、五郷町における国道309号及び須野町から新鹿町の国道311号における改良事業に対して、事業費の一部を負担します。
小計 8事業	86,074 (68,434)	
総計 45事業	1,417,075 (461,846)	

平成22年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成21年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)受入態勢の向上

(新規) 花の窟周辺整備事業【観光スポーツ交流課】 1,484万3千円

花の窟周辺に資料館、特産品加工所、レストラン等の施設を整備し、魅力ある観光地とします。平成22年度は基本・実施設計を行います。

(新規) くまのまごころおもてなし向上事業【観光スポーツ交流課】 29万4千円

来訪者にまた熊野を訪れたいと思っていただくため、講師の指導のもと観光関連業者と「くまのらしいおもてなしは何か」を検討し、「くまのおもてなし憲章」を策定します。

(新規) 財団法人組織改編事業【地域振興課】 2万9千円

事務事業の合理化、さらなる産業の振興、雇用の創出を図るため、(財)紀和町ふるさと公社及び(財)紀和町観光開発公社を統合し、新たな組織形態への再編を行います。

(継続) 特産品活用名物料理創作事業【観光スポーツ交流課】 20万円

熊野うまいもん倶楽部による新しい郷土料理の開発を行います。

(イ)観光地としての魅力創造

(新規) 徐福活用検討事業【観光スポーツ交流課】 118万7千円

日本のみならず東アジア3国の交流と集客を図るため、徐福伝説を活用してさらなる集客を図るため研究部会を立ち上げ、活用方法の検討を行います。

(新規) 丸山千枚田景観整備事業【地域振興課】 44万2千円

東屋周辺の耕作放棄地にスイレンを植栽しベンチを設置することで癒しの空間を創出します。

(新規) 瀧流荘・湯ノ口温泉魅力アップ集客推進事業【地域振興課】 21万9千円

瀧流荘や湯ノ口温泉、トロッコ電車等を利用者にとって魅力的なものにし、集客増加が図れるようなサービスや事業実用化への試行を実施します。また、旧鉾山坑道の有効活用によ

る新たな事業創出についても検討を行います。

(新規) くまの地域資源魅力向上検討事業【観光スポーツ交流課】 30万1千円

楯ヶ崎、海水浴場、徐福、丸山千枚田といった十分に活用されていない市内の地域資源の魅力を高め、集客に結びつけるため、各地域資源ごとに魅力向上計画を策定します。

(継続) 新たな集客・交流推進検討事業【観光スポーツ交流課】 293万3千円

鬼ヶ城、花の窟、観光物産会館などの滞留利用拠点づくりに加え、駅前周辺、記念通り・本町通り周辺といった道路やまち並み景観に対しても来訪者や地域住民を大切にするホスピタリティ表現を盛り込むなど集客・経済波及効果の期待できる構想を検討します。

(継続) 楯ヶ崎ビューポイント整備事業【観光スポーツ交流課】 9万円

楯ヶ崎ビューポイントの雑木の伐採を行います。

(ウ)体験型観光の促進

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,843万4千円

熊野古道を核として地域の観光資源を組み合わせた旅行や体験プログラムの企画や実施、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などのほか、滞在型の観光を推進することにより、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。また、宿泊施設や食の面で指導的立場をとり、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(エ)集客交流の促進

(新規) 熊野囲碁大会開催事業【観光スポーツ交流課】 44万2千円

県内外から囲碁愛好家を集め、市内で2日間にわたり囲碁大会を開催します。

(増額) 熊野古道積極活用推進事業(くまの魅力再発見事業)

【観光スポーツ交流課】 150万1千円(126万1千円)

熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、「めざせ！写真甲子園熊野古道写真教室」事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成を行います。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】 2,535万5千円

滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火まつり・ふるさとまつり開催事業

【地域振興課】 430万円

旧紀和町で開催していた伝統あるまつりを、地域の活性化と地域振興のため継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業【観光スポーツ交流課】 295万円

各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(オ)観光客の利便性向上

(継続) 熊野古道シャトルバス運行事業【観光スポーツ交流課】 173万5千円

中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために「熊野古道シャトルバス」を運行させるため、運営費の一部を負担します。

(カ)(財)紀和町観光開発公社の役割

(継続) 温泉集客倍増計画検討事業【地域振興課】 7万7千円

平成23年度に基本設計を予定している湯ノ口温泉施設と三重県から移譲の話があるホテル瀨流荘施設について温泉集客施設検討委員会を設置し、施設整備の概要について計画を策定します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿誘致

(新規) 全日本小学生男子ソフトボール大会開催事業

【観光スポーツ交流課】 214万4千円

全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全日本小学生男子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) 日本男子ソフトボール東日本リーグ開催事業

【観光スポーツ交流課】 104万6千円

日本男子ソフトボール東日本リーグ第2節を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) 日本スポーツマスターズ開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円

市の物産等をPRし、情報発信を積極的に行うため、日本スポーツマスターズ2010三重大会ソフトボール競技開催時の各種物産の紹介・販売・おもてなし等の経費に対し補助を行います。

(増額) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】 1,005万円 (950万円)

各種スポーツ大会を開催するとともに、柔道フェスティバルについては事業費を増額し、さらなる内容の充実を図ります。

(増額) 音楽合宿誘致事業【教育委員会】 177万円 (90万5千円)

平成23年3月に三重大学管弦楽部の5泊6日の合宿を誘致します。また、新たに2校音楽合宿を誘致します。

(増額) 還暦野球熊野大会開催事業【観光スポーツ交流課】60万円(50万円)

山崎運動公園くまのスタジアム等で、16チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。平成22年度は新たに古希の部4チームを加えます。

(継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】5万円

平成22年11月下旬に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。

(継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】100万円

三重・和歌山・奈良3県からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】50万円

学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 紀伊半島ビーチバレーボールフェスタ開催事業【観光スポーツ交流課】

15万円

平成22年7月に新鹿海水浴場において紀伊半島ビーチバレーボールフェスタを開催することにより、海のまち「新鹿」をPRし、ビーチバレーを通じて集客の拡大、地域の活性化を図ります。

2 商工(鉱)業の振興

(1) 商業

(ア) 販売・輸出の強化

(継続) 特産品「熊野ブランド」導入促進事業【水産・商工振興課】17万6千円

特産品のブランドイメージを高めるため、HACCP・トレーサビリティの導入促進を図ります。

(継続) 物産展開催事業【水産・商工振興課】52万7千円

市外への輸出を促進するため、大都市消費者のニーズを把握するとともに、展示、販売方法等を研究し、市の観光資源等もPRします。

(イ)中小小売業の活性化

(新規) 商店街景観整備事業【水産・商工振興課】 81万9千円

松原商店街の景観を整備するため、看板改修費用の3分の2を助成します。

(新規) タウンマップ製作事業【水産・商工振興課】 10万円

観光客等の商店街の利用促進を図るため、商店連合会が作成するタウンマップの製作費の2分の1を助成します。

(増額) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業

【水産・商工振興課】 250万円 (180万円)

木本町、井戸町、有馬町の商店街における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。

(増額) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 241万6千円 (214万3千円)

住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

(継続) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 75万円

若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の3%・補助対象融資限度額500万円、補助上限15万円)に対して補助を行います。

(継続) 若者起業支援・起業塾開催事業【水産・商工振興課】 47万9千円

市内において若者の起業を促すため、年5回起業に関する講座を開催するとともに、起業の先進事例等の視察研修を行います。

(2)工(鉱)業

(ア)企業誘致、新規産業の創出

(イ)新たな製品の創造

(増額) 産学官共同研究事業【水産・商工振興課】 89万5千円 (67万円)

市内事業所等の関係者、近大高専をはじめとする研究機関の有識者、行政機関職員が、地域資源を活用して市内産業の振興を図るため、共同して研究を行います。

(継続) 新規特産品開発事業【水産・商工振興課】 50万3千円

熊野市唯一となる地酒の生産・加工に取り組むため、育生町の伝統特産品である「どぶろく」の商品化に向けた取り組みを行います。

(3)就業機会・人材育成

(ア)雇用機会の拡大

(継続) 緊急雇用創出事業【水産・商工振興課】 2,691万8千円

離職を余儀なくされた、非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対し、短期の雇用・就業機会の創出を図ります。

(継続) ふるさと雇用再生特別基金事業【水産・商工振興課】 2,712万4千円

地域の雇用再生のため、求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施することで、地域における継続的な雇用創出を図ります。

(継続) 就業支援専用窓口設置事業【水産・商工振興課】 3万6千円

専用の相談電話を設置し、市独自の支援策を紹介するなどして就業支援を行います。

(イ)人材育成

(継続) 人材育成支援事業【水産・商工振興課】 100万円

就業機会を拡大するために、市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者などが新たに知識、技術を修得するために必要な経費を融資します。

3 農林水産業の振興

(1)農 業

(ア)農業者の確保・育成対策

(新規) 農業公社設立準備事業【農業振興課】 28万4千円

耕作放棄地の利活用及び若者やUIJターン者の就農促進対策等のために平成23年度に設立する予定の熊野市農業公社(仮称)について、各種準備及び検討を行います。

(増額) 新規就農者自立支援事業【農業振興課】 180万円(144万円)

UIJターン等新規就農に向けた研修を実施する農家に、研修生への日当の一部を補助します。6か月の研修終了後、研修者に対し18か月間、月額8万円から10万円に引き上げ、自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】 600万円

UIJターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 元気なみかんの里創生事業【農業振興課】 36万3千円
新規就農者の研修に係る受け入れ農家への費用の一部を助成します。

(イ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 熊野たかな産地強化事業【農業振興課】 40万3千円

たかな漬けを市の特産品として位置づけ、食品関連事業者との連携を深めるとともに、高設栽培による省力化及び庭先栽培等により生産者の増加及び規模拡大を図ります。

(新規) 野菜・ハーブ・等新規特産農作物検討事業【農業振興課】 44万8千円

「新姫」や「熊野地鶏」に続く農畜産物の特産品化を目指し、関係機関と意見交換を行いながらトマトやハーブを始めとした新たな農作物の生産振興について検討を行います。

(新規) 特産品化調査研究事業【農業振興課】 77万8千円

地域資源を活用した特産品(チーズ等)の企画・製造・販売に係るノウハウを調査研究するため、先進的な取り組みを行っている講師を招き、新たな特産品づくりを学びます。

(増額) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】 1,544万5千円 (574万5千円)

「新姫」を特産品として振興していく上で必要な苗木増産、遊休農地等を活用した栽培を進めると同時に商品化に向けての検討を行います。

近年、香酸かんきつが注目されており、さまざまな関連商品が市場流通する中で差別化を図るための商品開発を行います。

(増額) 熊野地鶏振興事業【農業振興課】 106万8千円 (85万8千円)

「熊野地鶏」を市の新たな特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売先の確保を進めます。

(増額) 農産物「熊野ブランド」確立実践事業【農業振興課】 49万1千円(36万3千円)

有機野菜の栽培を定着化させ、地元の農作物を「熊野ブランド」として銘打てるようにするため、栽培方法を確立させ、市内の農家に普及させていきます。

(増額) 耕作放棄地再生利用事業【農業振興課】 25万9千円(6万円)

耕作放棄地解消を目的として、市の支援後も継続的に取り組めるような作物を地域とともに研究し実証していきます。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】 300万円

地域の人材や資源の活用により、地域の活性化と雇用の創出につながる食品加工・産直施設・伝統工芸・特産品開発事業を行う個人、または、団体の活動に要する経費に対し、支援を行います。

(ウ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(新規) 県営中山間地域総合整備事業(北部地区)【産業基盤整備課】 1, 137万5千円

中山間地域の農村農業の活性化を図るため、平成22年度～平成27年度に五郷町、飛鳥町の水路等を整備します。

(増額) 県営中山間地域総合整備事業(南部地区)

【産業基盤整備課】 1, 625万円(1, 137万5千円)

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(継続) 県営畑地帯総合整備事業【産業基盤整備課】 3, 800万円

紀南中核的交流施設整備基本計画の基本構想案が示され、残される柑橘園地が明確化し、分断された園地の利用計画が懸念されていることから、畑地帯総合整備事業の実施により高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(継続) 農免農道整備事業【産業基盤整備課】 2, 549万9千円

農免農道開設事業により国道311号から農村公園、防災拠点施設などを経て、県代行久生屋金山線への中核交流施設核心部にいたる2車線幹線農道の開設について事業を実施します。

(エ)獣害対策

(新規) 獣肉有効活用検討事業【林業振興課】 25万円

捕獲した猪・鹿の有効利用を図ることを目指し、獣肉の市場調査と処理施設建設に係る先進地視察を行います。

(増額) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 664万5千円 (548万5千円)

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を引き続き実施します。

(増額) 農林産物獣害対策事業【農業振興課】 340万3千円 (306万1千円)

農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。

(オ)(財)紀和町ふるさと公社の役割

(増額) ふるさと特産物加工所建設事業

【地域振興課】 5億3, 333万8千円 (2, 909万8千円)

紀和町ふるさと公社が製造加工している味噌、梅干、たかな漬けに加え、新たに高麗雉、

熊野地鶏の食鳥・食肉処理や、新姫の搾汁などを行う特産物加工所と保管庫を新たに建設します。

(増額) ふるさと公社事業【地域振興課】 5,652万7千円 (4,327万9千円)

貴重な文化資源である丸山千枚田を保全し、オーナー制度を運営することで観光や文化資源としての活用・農耕文化の継承・都市住民との交流や市の特産品として農産物の生産・加工・販売を行い地元への経済効果・雇用の確保・シルバー人材の活用といった多岐にわたる成果を得るため、「丸山千枚田オーナー制度運営事業」・「農産物(特産品)育成開発事業」・「地域環境整備事業」・「公益法人事業」を行います。

「地鶏生産事業」については、6,000羽から10,000羽に大幅な事業の拡大を行います。

(継続) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 862万2千円

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を行い、観光資源、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承や雇用の確保に努めます。

(2)林業

(ア)市民と共存する豊かな森づくり

(新規) 林内路網整備事業【林業振興課】 3,000万円

作業等の路網整備を行うことで、地域材利用促進を図るとともに、間伐等の森林整備の加速化を推進します。

(新規) 森林整備地域活動支援交付金事業(拡充事業)【林業振興課】 3,493万円

森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業が実施されるよう、その森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、実施区域の明確化、実施区域へのアクセス道の整備等に対し支援を行います。

(新規) 木材加工流通施設等整備事業【林業振興課】 750万円

原木市場の効率性向上のため、機械導入に対し補助を行います。

(新規) 林業機械化促進事業【林業振興課】 225万円

紀南森林組合の林業の効率化を図るため、林業機械導入に対し補助を行います。

(増額) 森林環境創造事業【林業振興課】 4,601万4千円 (3,308万5千円)

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(増額) 森林病虫害防除事業【林業振興課】 319万3千円 (94万7千円)

花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(増額) 林内作業道開設事業【林業振興課】228万円(186万円)

森林組合が開設する作業道について、測量支援を行います。

(増額) 林道開設事業【産業基盤整備課】1億5,778万円(1億2,105万9千円)

林道高代山線開設事業、他5路線の改良事業及び波田須町、紀和町丸山地区に防火水槽を設置します。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】58万8千円

民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(継続) 木造住宅建設促進対策事業【林業振興課】1,100万円

地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。

(継続) 木工品等マーケティング調査・情報発信事業【林業振興課】100万円

特産品づくりに資するマーケティング調査及び情報発信事業を鬼の国物流協同組合に委託して行います。

(継続) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】60万円

熊野木材協同組合に対し、熊野材を利用した木造住宅の需要調査や営業活動について必要経費の補助を行います。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) つきいそ造成事業【水産・商工振興課】801万円

イセエビの漁獲量を増やすため、遊木町地先にイセエビ礁の造成を行います。

(新規) 藻場造成事業【水産・商工振興課】481万円

アワビやサザエなどの餌場の保護のため、磯崎町地先に人工藻場礁の造成を行います。

(新規) 新規養殖魚調査研究事業【水産・商工振興課】445万2千円

マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、カワハギを試験的に養殖します。

(新規) 環境生態系保全活動支援事業【水産・商工振興課】75万円

藻場や磯場の生態環境保全のため、藻場保全など地域組織が実施する活動について支援を行います。

(継続) 養殖魚種転換緊急支援事業【水産・商工振興課】 100万円

熊野市内の養殖魚業者がマダイ以外の養殖魚種を購入する場合の資金融資について、必要となる利子の一部(融資金額の1%)を支援します。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 340万7千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(継続) 水産物地産地消費普及促進事業【水産・商工振興課】 10万8千円

マダイやサンマなどの特産品を一般家庭で消費される調理方法の提案と普及を行うことにより地産地消を促進します。

(ウ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 110万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷・紀和町の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

(エ)後継者育成

(増額) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 168万円 (108万円)

漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。

②保健・医療・福祉の充実
「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高年齢者福祉

(ア)高年齢者の健康づくり

(新規) 水中運動事業【健康・長寿課】 26万8千円

要介護状態への予防を目的として、65歳以上の高齢者を対象とした筋力向上・転倒予防のための水中運動をB&G海洋センタープールで実施します。

(新規) 転倒・寝たきり予防プログラム指導者養成研修会事業

【健康・長寿課】 5万1千円

B&G財団の協力により、講師を招いて高齢者のための健康づくりプログラムの策定に向けた職員研修会を開催します。

(増額) 介護予防ケアマネジメント事業

【健康・長寿課】 3,633万6千円 (3,344万9千円)

介護予防事業、新予防給付の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(増額) 高齢者生活機能チェック事業【健康・長寿課】 1,012万8千円(888万1千円)

全国統一の問診表により、特定高齢者(介護予防事業への参加が望ましいとされる者)の候補者をスクリーニングし、介護予防事業へとつなげていきます。

(継続) 介護予防一般高齢者施策事業【健康・長寿課】 1,516万5千円

65歳以上の高齢者に対する健康教室や転倒予防教室、高齢者伝承遊び普及、アクアエクササイズなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(継続) 介護予防特定高齢者施策事業【健康・長寿課】 433万5千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(イ)高年齢者の生きがいと社会参加の促進

(増額) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】 288万円 (252万円)

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)ともに支え合える地域社会づくり

(継続) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 453万2千円

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 98万2千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 180万2千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 民生委員安否確認事業【福祉事務所】 78万円

民生委員により一人暮らし高齢者等の要支援世帯へ随時訪問、電話による安否確認を実施します。

(継続) 家族介護者支援・交流事業【健康・長寿課】 74万9千円

痴呆性老人の家族介護者への相談、指導、介護技術の習得支援、情報交換、交流等を行います。

(エ)相談・支援体制の充実

(新規) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 48万3千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(新規) 高齢者会食モデル事業【健康・長寿課】 27万5千円

独居高齢者に地区集会所に来ていただき、食事や健康相談、ゲームをするなどして楽しく過ごしてもらい、安否確認、孤独感の軽減、閉じこもり防止を図ります。

(新規) 高齢者安心生活サポート事業【健康・長寿課】 16万円

高齢者をケガなどの危険から回避させるため、高齢者の世帯等で自宅の修繕が自力でできない際、出張所職員が可能な範囲で修繕・修理を実施するための工具を整備します。

(継続) 認知症サポーター養成事業【健康・長寿課】 19万6千円

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業【健康・長寿課】 455万8千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業【健康・長寿課】 438万3千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【健康・長寿課】 495万9千円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(継続) 障がい者グループホーム等移行支援補助事業【福祉事務所】 86万6千円

障がい者グループホーム等入居者の家賃補助を行い、自立生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更正援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 授産施設等通所交通費補助事業【福祉事務所】 171万円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が授産施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】 16万円

市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3)子育て支援

(ア)母と子の健康づくり

(継続) 5歳児発達健診事業【健康・長寿課】 11万4千円

注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害、学習障害、軽度精神発達遅延の疑いがある子供について小児精神発達専門医師による就学前の健診及び相談を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】 1,362万5千円

母子保健のしおりを発行するとともに、平成21年度に引き続き自己負担なしで受診していただける妊娠健診の助成を5回から14回に拡大します。

(継続) 乳幼児療育教室(すぎっこ教室)事業【健康・長寿課】 53万6千円

発達に遅れのある幼児と保護者を対象に、保育士による集団活動や遊びの指導などによる発達支援のための療育教室を実施します。

(継続) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】 50万円

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 15万1千円

幼児とその保護者に対して、教室を開催し、情報誌を発刊することで親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 子ども手当給付事業【福祉事務所】 2億8,724万円

中学校卒業までの子どもに一人当たり月額1万3千円を支給します。

(新規) 少子化対策・婚活拡充事業【福祉事務所】 266万円

男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施します。

(新規) 金山保育所設備整備事業【福祉事務所】 400万円

金山保育所改築に伴い、必要な保育設備を整備します。

(新規) 公立保育所サービス向上・効率化促進検討委員会設置事業

【福祉事務所】 15万円

市立保育所のサービス向上・効率化を促進するため検討委員会を立ち上げ具体的な議論を行います。

(新規) 放課後児童クラブ移転事業【福祉事務所】 55万6千円

現在、母子生活支援施設で実施している学童クラブを井戸幼稚園に移転し、より健全な運営を実施します。

(増額) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 789万8千円 (720万4千円)

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(増額) 母子家庭高等技能訓練促進事業【福祉事務所】 174万2千円 (128万6千円)

母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(増額) チャイルドシート購入費補助事業【福祉事務所】 45万円 (38万円)

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業【福祉事務所】

18歳以下の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業【福祉事務所】 65万9千円

平成21年度から引き続き土曜日の開所時間を延長します。

①土曜日午後5時まで延長

井戸、有馬

②土曜日午後1時まで延長

たんぼぼ、新鹿、木本、金山、五郷、板屋、神川

(継続) 少子化対策・母子家庭自立支援事業【福祉事務所】 45万円

くまのっ子学童クラブに入所する母子家庭の保育料の2分の1を補助します。

(継続) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業

【福祉事務所】 19万2千円

子育ての不安感、孤立感を解消するため、6歳未満の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1を助成します。

(継続) 子育て支援事業【福祉事務所】 1,016万4千円

金山保育所内に職員を配置して保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 母子家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(継続) 少子化対策ふるさと商店街子育て支援事業 【水産・商工振興課】 9万4千円
3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の店舗で割引などのサービスが受けられるパスポートを発行します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(継続) 特別保育事業(老人とのふれあい事業) 【福祉事務所】 63万6千円
地域の老人を保育施設に招待し、園児とゲームや伝承遊びをして楽しみます。また、地区の敬老会や老人福祉施設を訪問し、歌や踊りを披露し交流を行います。

(4)社会保障等

(ア)福祉医療

(増額) 心身障がい者医療費助成充実事業 【市民保険課】 109万9千円 (104万5千円)
療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

2 健康長寿の推進

(1)健康づくり

(ア)健康づくり意識の向上

(新規) 任意予防接種(肺炎球菌ワクチン)補助事業 【健康・長寿課】 192万円

高齢者の肺炎で最も頻度が高いとされている肺炎球菌による肺炎の発症及び重症化、死亡を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を補助します。

(新規) 女性特有のがん検診推進事業 【健康・長寿課】 139万2千円

子宮がん検診、乳がん検診の対象者に検診手帳、クーポン券とともに受診案内を送付し、6ヶ月間の有効期限内に受診した者に対し、検診費用の全額を補助します。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業 【健康・長寿課】 540万5千円

麻しん、風しんの予防接種を強化するため、中学1年生と高校3年生について各学校での集団接種と個別接種を併用し、推進します。

(継続) がん検診推進事業 【健康・長寿課】 27万3千円

年間を通じたがん予防キャンペーンを実施するとともに、受診しやすい体制をつくることで受診率を向上させます。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 各種健康診査・データ管理事業【健康・長寿課】 279万1千円

各種健康診査の受診への助成を行い受診率の向上を図るとともに、市民1人ひとりの健康管理を目指したデータ管理を進めます。

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】 215万2千円

健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(継続) メタボリックシンドローム対策事業【健康・長寿課】 64万1千円

内臓脂肪はウエスト周りをメジャーで測定することで簡単に判定できるので、特にウエスト周りが85cm以上ある男性や、90cm以上ある女性に広く参加を呼びかけ、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の解消を目指した取り組みを実施します。平成21年度に引き続き3ヵ月後の測定に加え、リバウンド予防のため6ヵ月後の測定も実施します。

(2)医療体制

(ア)救急医療体制の充実

(継続) 新型インフルエンザ対策事業【健康・長寿課】 5万3千円

新型インフルエンザ流行時に対応する手指消毒薬等を備蓄します。

(継続) 新型インフルエンザ対策事業【消防署】 21万1千円

新型インフルエンザ発生時に対応する職員の感染予防対策のための感染防止衣等を整備します。

(継続) 救急救命士養成事業【消防署】 321万2千円

平成22年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管、薬剤投与の実習を実施します。

③教育・文化の振興
「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(イ)総合的・体系的な生涯学習の推進

(継続) 図書ボランティア養成事業【教育委員会】28万8千円

これまでの読み聞かせに加え、本の配架や補修等もできるボランティアを養成します。

(ウ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 熊野市民会館ホール椅子改修事業【教育委員会】9,670万円

市民会館ホールの客席椅子を改修し、市民会館のイメージアップや利便性の向上を図り、文化事業の推進を図ります。

(増額) 図書館図書購入事業【教育委員会】4,000万円(1,000万円)

図書館図書を大幅に増額し購入します。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】171万4千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(継続) 友好都市交流事業 【市長公室】 13万3千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「産業まつり」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(新規) 放課後学習プラン事業 【教育委員会】 91万円

市内小中学校5校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、児童・生徒の学力向上を図ります。

(新規) 土曜日学習プラン事業 【教育委員会】 79万2千円

市内小中学校5校を対象に、毎週土曜日3時間の学習会を開催し、児童・生徒の学力向上を図ります。

(新規) 夏休み学習プラン事業 【教育委員会】 27万円

市内小中学校5校を対象に、夏休みに15日間の学習会を開催し、児童・生徒の学力向上を図ります。

(継続) 外国語指導助手(ALT)配置事業 【教育委員会】 1,563万9千円

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、国際感覚にあふれた人材を育成します。

(継続) 学力調査活用事業 【教育委員会】 30万円

学力調査を活用して児童生徒の学力の定着状況を把握・分析することを支援します。

(継続) 小学校英語教育推進事業 【教育委員会】 12万1千円

小学校における英語教育が充実したものとなるよう、調査・研究を進めます。

(イ)教職員の資質の向上

(継続) 学力向上研究事業 【教育委員会】 15万9千円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催し、授業方法の工夫と改善につなげます。

(継続) 学力アドバンス事業【教育委員会】30万円

小中学校を指定校として、教師の授業方法の工夫や改善を支援します。

(ウ) 心の教育の推進

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】247万4千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(増額) 臨時介助員配置事業【教育委員会】2,753万4千円(2,408万4千円)

知的、身体的障がいのある児童生徒に介助員を配置します。

(増額) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】478万5千円(153万1千円)

特別支援教育が必要な学校に支援員を配置します。

(オ) 小・中連携教育の推進

(カ) 安全・安心な学校環境の整備

(増額) 新鹿小・中学校、保育所改築事業

【教育委員会】2億1,715万8千円(1,411万円)

小中保育所併設校舎、屋内運動場の改築事業を平成22年度から3か年で実施します。

(増額) 小学校耐震補強事業【教育委員会】1億458万2千円(547万1千円)

神上小学校屋内運動場の実施設計及び木本・有馬小学校屋内運動場の耐震補強事業を実施します。

(継続) 中学校耐震補強事業【教育委員会】3,157万3千円

木本中学校屋内運動場の耐震補強事業を実施します。

(2) 学校教育(高等学校等の教育)

(ア) 高等学校等への要請と協力

(増額) 奨学金貸付事業【教育委員会】600万円(360万円)

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円

を奨学金として貸与し、卒業後毎月2万円の償還を受けます。

(増額) 近大高専奨学金貸付事業【教育委員会】 448万5千円 (423万3千円)

近大高専に入学し、勉学に熱意のある者で、経済的理由により就学困難な者に対し、三重県立学校との入学金、学費等の差額を3年生まで貸与します。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】 250万円

高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(新規) ドリームベースボール開催事業【教育委員会】 134万円

青少年の健全育成と地元指導者・競技者の更なる技術向上のため、プロ野球名球会及びOBクラブによる指導者クリニック、少年少女ふれあい野球教室、講演会、ドリームゲームを開催します。

(新規) コーディネーション運動による児童体力向上事業【教育委員会】 60万8千円

保育士を中心にコーディネート運動の講習を受け、保育所児童の体力・運動能力の向上を図ります。

(新規) プールリニューアルオープンセレモニー事業【教育委員会】 52万8千円

シドニーオリンピック銀メダリスト中村真衣さんによる水泳講習会などを開催し、リニューアルしたプール施設をより多くの方々にPRし利用促進を図ります。

(新規) ヨット体験教室開催事業【教育委員会】 15万1千円

小学4、5、6年生を対象にヨット体験教室を開催します。

(新規) カヌー教室開催事業【教育委員会】 1万9千円

小学4、5、6年生を対象にカヌー教室を開催します。

(新規) アクアキッズフェスティバル開催事業【教育委員会】 11万2千円

泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。

(継続) くまの健康スポーツクラブ運営事業【教育委員会】 123万1千円

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業【教育委員会】 50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(継続) 人権啓発事業【市民保険課】 84万8千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(継続) 男女共同参画推進事業【市長公室】 38万6千円

男女共同参画の普及のための講演会や啓発活動を行います。

④生活環境の整備
「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(継続) 地籍調査事業【建設課】 767万2千円

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、高速道路、国道、県道の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) 電線共同溝整備事業【建設課】 2,001万円

都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。平成22年度は、予備設計、詳細設計を実施します。

(継続) 誘客・周遊による活性化推進事業【市長公室】 10万円

鬼ヶ城・花の窟などの世界遺産の魅力を活用した誘客・周遊の仕掛けづくりや、賑わいを創出するための各拠点のあり方・連携策・景観などについて、商工会議所とともに検討を行います。

(継続) 熊野市駅前駐車場整備事業【総務課】 9,135万3千円

駅前周辺整備に伴い駐車場が必要となるため整備を実施します。

(継続) まちづくり交付金事業【建設課】 1億1,898万4千円

地域住民の生活環境の向上を図るため、平成22年度は、本町通り関連街路改良事業、西川町獅子岩線駅前広場整備外1線改良事業等を実施します。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(増額) 花いっぱい運動事業【市長公室】 175万4千円 (166万9千円)

育苗施設を活用した花づくり、オープンガーデン熊野の開催などを実施します。平成22

年度は新たにハーブ栽培を実施します。

(4) 公園・緑地の整備

(ア) 公園の充実

(継続) 山崎運動公園多目的グラウンド改修事業【建設課】7,815万2千円
多目的グラウンドの地盤改良、グラウンド整備、暗渠配水管整備、ナイター設備を平成20年度から3か年で行います。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防災

(ア) 住民意識の高揚と自主防災組織の強化

(新規) 豪雨対策事業【防災対策推進課】18万1千円

大雨、洪水時の災害に備えて、要望のある自主防災会に対し、土のうを無償配布し、住民が緊急時に対応できるようにします。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業【防災対策推進課】50万円
防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 災害に強い構造のまちづくり

(新規) 緊急地震速報システム整備事業【防災対策推進課】511万2千円

市内の小学校、保育所、幼稚園に、ゆれが到着する前に緊急地震速報が放送されるシステムを構築し、子ども達の避難の時間、安心確保を図ります。

(新規) 耐震シェルター設置事業【防災対策推進課】250万円

住宅の倒壊から居住者の生命の安全を守るため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で、耐震診断の結果による評点が0.7未満とされた住宅に居住している65歳以上の高齢者のみの世帯等に耐震シェルター設置費用の補助を行います。

(増額) 災害救護所整備事業【防災対策推進課】106万3千円(87万1千円)

大規模災害時、地元医師会を中心とした救護所の設置のため、避難用大型テント、簡易トイレなどを整備します。

(増額) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】1,080万円(782万5千円)

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を

行います。

(増額) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】 660万円 (450万円)

木本町新出町地区外2地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(継続) 避難路整備事業【建設課】 500万円

緊急避難時において、老人、子ども等が安全に避難できるよう階段に手すりを取り付けたり、路面の補修を行います。

(継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】 450万円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】 188万3千円

災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。

(継続) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】 100万円

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(継続) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】 46万7千円

東海・東南海・南海地震が発生した際の避難者が最低限過ごせるだけの非常食及び非常飲料水を購入し、計画的に備蓄します。

(継続) 緊急時浄水器整備事業【防災対策推進課】 36万8千円

大規模地震等の災害時に備え、水源地地区に緊急時用浄水器の整備を行います。

(継続) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】 32万円

災害弱者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、固定のためのL字金具等を取り付けます。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(継続) 消防服整備事業【消防署】 157万円

耐熱効果のなくなった防火衣を耐熱性、機能性、防護性の優れた上下式防火衣に更新します。

(イ)国民保護や大規模災害に対する取組

(増額) 消火栓ボックス整備事業【防災対策推進課】 85万7千円 (65万円)

紀和町内に設置している消火栓ボックスのうち、状態が悪く使用不能なホース、管鎗を更新します。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 空家情報公開事業【水産・商工振興課】 3万6千円

市内の山間部・海岸部にある空家を貸したいという人を広報を通じて募集し、市のホームページや広報を通じて空家情報を公開し、借りたい人を募集します。

(4)水 道

(ア)水道水の安定供給

(5)道 路

(ア)高規格幹線自動車道の整備促進

(継続) 熊野尾鷲道路整備促進事業【建設課】 34万5千円

熊野尾鷲道路整備促進のため用地交渉に同行し、地権者との調整を図ります。

(イ)国道の整備促進

(増額) 国道309号、311号道路改良事業【建設課】 400万円 (250万円)

飛鳥町、五郷町における国道309号及び須野町から新鹿町の国道311号における改良事業に対して、事業費の一部を負担します。

(ウ)県道の整備促進

(新規) 市営住宅解体事業【建設課】 680万円

県道七色峡線の拡幅促進のため、宇井団地の一部について解体を実施します。

(エ)市道の整備推進

(新規) 橋梁長寿命化事業【建設課】 800万円

橋梁の老朽化に対応するため、市内78箇所の市道の橋長15m以上の橋梁の点検を実施

します。

(増額) 道路維持事業【建設課】 6,000万円 (5,000万円)

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(6)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(継続) バス運行対策事業【市長公室】 6,465万3千円

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線・潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線・熊野古道瀬流荘線・飛鳥五郷線

(継続) 地方バス路線維持事業【市長公室】 617万3千円

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 593万5千円

①紀和町全域において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。

②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。

(イ)地域交通体系の構築

(新規) 過疎交通対策推進事業【市長公室】 215万6千円

過疎地域における交通施策を推進するため、過疎地有償運送を実施する団体に対して支援を行います。

(継続) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 26万6千円

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

(7)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(新規) 市営住宅耐震診断事業【建設課】 382万4千円

建物の延命化を図るため、松原団地、第1所山団地の耐震診断を実施します。

3 環境保全の推進

(1) 廃棄物処理

(ア) 廃棄物の減量化

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円
電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(継続) 東紀州資源循環社会研究会事業【環境対策課】 20万円
生ごみの堆肥化、その堆肥を使つての野菜作りによる資源循環型社会の構築を目指して活動している東紀州資源循環社会研究会の事業経費の一部を助成します。

(イ) 廃棄物処理体制の充実

(新規) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】 900万円

耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターを建設するために必要な計画等の策定業務を実施します。

(2) 環境保全

(ア) 水環境・自然環境の保全

(継続) 休廃止鉱山公害対策事業【環境対策課】 766万円
休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】 25万円
大又川の水質の再生を目指して生活雑排水処理施設の効力の研究、合成洗剤から石鹼への切り替え運動等を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ) 地球温暖化の防止

(継続) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】 19万9千円
地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(新規) 全市民によるごみ拾い運動事業【環境対策課】 14万7千円

6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。

(増額) 不法投棄防止対策事業【環境対策課】 100万円 (41万9千円)

不法投棄パトロールの実施、監視員制度、啓発看板の設置等を行い不法投棄のないきれいなまちづくりを目指します。

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】 5万2千円

環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(継続) 広報紙内容充実事業 【市長公室】 12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業 【市長公室】 29万2千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(新規)過疎集落維持活性化事業 【市長公室】 2,424万9千円

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を増員配置し、集落機能の強化を図ります。

(新規)田舎暮らし体験事業 【水産・商工振興課】 24万円

移住希望者の定住促進を図るため、市が空家を借り受け、移住希望者に短期間(1ヶ月程度)の田舎暮らしを体験してもらいます。

(継続)移住・交流推進事業 【市長公室】 44万5千円

空き家を活用した田舎暮らし体験モデル事業や都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(継続)あいさつ運動推進事業 【市民保険課】 48万6千円

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(継続)「美し国おこし・三重」支援事業 【市長公室】 72万円

地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,159万6千円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成21年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP52、53)

(ウ)環境整備

(新規)神上生活改善センター改修事業【教育委員会】550万円

神上生活改善センターの改修事業を実施します。

(新規)遊木漁民センター改修事業【水産・商工振興課】255万円

遊木漁民センターの改修に対し、補助を行います。

(新規)野口多目的集会所駐車場整備事業【農業振興課】54万4千円

野口多目的集会所の駐車場の舗装を実施します。

(新規)佐渡多目的集会所改修事業【農業振興課】41万円

佐渡多目的集会所の改修事業を実施します。

(3)市民活動の促進

(ア)市民活動と行政との協働の推進

(新規)若者・女性による元気な熊野市懇談会事業【市長公室】74万円

30代～40代の若い世代や女性と市役所幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討します。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(継続) コーチング研修事業【総務課】200万円

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。

職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を

発揮し組織力を向上させます。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】 76万円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

(イ)質の高い市民サービスの提供

(新規) 出張所自治会活動支援事業【総務課】 14万4千円

西山・育生地区の自治会活動の応援要請に対応するため備品等を整備し、地域の環境美化と活力の維持を図ります。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)人件費の削減

(ア)退職職員の不補充(退職15人、採用4人)による減 9,400万円

(2)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 2億5,000万円

平成22年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課
		事業の内容		
荒坂	荒坂ミニファーム2010事業	① 「えごま」「ニンニク」を栽培し採算性の見込みを探る ② 引き続き「ひょうたん」の栽培、加工方法の研究	354	農業振興課
		遊休農地を利用した「えごま」「ニンニク」「ひょうたん」の栽培及び絵付けなどの加工		
遊木	遊木の交通安全対策事業	子どもたちが事故にあわないように注意看板とカーブミラーを設置する	386	市民保険課
		飛び出し注意箇所、見通しが悪い箇所各15箇所に設置		
		小計	386	
新鹿	災害に強いまちづくり整備事業 (H19～)	災害時における避難路等の整備	870	防災対策推進課
		① 停電時避難誘導灯の設置 ② 津波避難路の舗装		
波田須	徐福花の里づくり事業 (H19～)	熊野古道と花の里によるまちづくり	721	市長公室
		スイセンの繁殖園を兼ねた花壇の整備及び花木の植栽		
磯崎		樹木の伐採等	33	防災対策推進課
大泊	環境美化普及事業 (H21～)	地域環境の改善を図る	314	環境対策課
		① EMの普及を目的とした講演会の開催 ② 各家庭において培養・使用 ③ 水質検査の実施		
木本	木本町出身のオリンピック選手顕彰事業 (H20～)	木本町出身のオリンピック選手の資料整備、展示、広報	738	教育委員会
	「ホタル川」づくり事業 (H21～)	ホタルを定着させるために餌となるカワニナを養殖する ① カワニナの養殖 ② 周辺の清掃・草刈	90	環境対策課
	ウォーキングコース設置事業 (H21～)	ウォーキングイベントを開催し町民の健康増進を図る ① ウォーキングイベントを定期的に開催、チラシ作成	208	健康・長寿課
		小計	1,036	
井戸	井戸川環境美化普及事業 (H17～)	EMによる井戸川の環境美化	556	環境対策課
		① 井戸川へのEM団子及び活性液の投入 ② 井戸川周辺の草刈とすすきの除草		
有馬	花の里づくり事業	花の地域産品創出と景観づくり 遊休農地等を活用した花卉栽培	619	農業振興課
久生屋	久生屋探訪マップ製作事業	地区の史跡等を載せた町内の探訪マップを作成する	230	教育委員会
		① 史跡等を調査し、地域を再発見する ② ウォーキングによる健康増進		
	子ども見守り事業	のぼり旗を設置し交通安全を啓発する のぼり旗の設置や、劣化した以前設置したものを交換する	45	市民保険課
		小計	275	
金山	環境美化活動推進事業 (H18～)	ホタルの里づくりによる住民の環境美化に対する意識の向上	71	環境対策課
		① 河川環境美化活動 ② 講演会		
	ビューポイント整備事業 (H20～)	住民や来訪者の憩いの場づくり 海が見える遊休農地をビューポイントとして整備	136	観光スポーツ交流課
		小計	207	

地区	事業名	事業の目的 事業の内容	予算額 (千円)	担当課
育生	とこね広場周辺整備事業 (H17～)	町内外の人達の交流と憩いの場づくり ① 昇降路整備 ② 敷き砂利 ③ 湧水処理パイプ設置 ④ 果樹の植樹 ⑤ 園芸及び草刈作業	943	農業振興課
神川	神川町多目的グラウンド整備事業 (H20～)	イベントやコミュニティの場づくり 神川中学校グラウンドの整備（フェンス設置）	2,000	教育委員会
五郷	新地場産業興し研究事業 (H19～)	新たな地場産業による地域の活性化 お茶、いたどり、ふゆき、果樹の栽培及び木工品と苔玉の加工	1,060	農業振興課
	安心して住めるまちづくり事業	防災設備の充実、住民の意識の高揚と啓発 ① 防災資器材倉庫の設置（13施設） ② 発電機（1台）、無線機（2台）、救急医療セットの購入 ③ 防災カレンダーの作成 ④ 防災資器材の保守点検	867	防災対策推進課
	小計		1,927	
飛鳥	すきま野菜産地化計画事業 (H19～)	① 農地の遊休化の防止 ② 直売所における安定的な産品の確保 ③ 農家の所得の向上 ① 多品種野菜生産の産地化 ② 希少性が高く、地域で栽培可能な野菜の有機的農法による生産 ③ 年間を通して販売ができる野菜類の栽培研究	400	農業振興課
	飛鳥地区助け合い事業	ボランティアグループを組織し、運営の手助けをしていく 各地区にボランティアグループを2組組織する。（1組10名前後）	100	健康・長寿課
上川	高齢者支援、地域景観保護事業 (H18～)	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備 ① 高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ② 道路や公共施設周辺の樹木の伐採	381	健康・長寿課
西山	赤木城史跡周辺イメージアップ事業 (H19～)	花木の植栽による景観保全 土壌改良、サザンカ・ヒメイワダレソウの植栽	344	農業振興課
	西山地区地域防災対策事業	消火栓等の使用方法についての消火訓練を行う 噴霧式兼用ノズルの購入	130	防災対策推進課
	小計		474	
合計			11,596	